

航空自衛隊 府中基地見学会

8月23日(木)午前10時から午後2時までの予定で開催されました。午前9時50分東府中の府中基地正門前に集合で会員と役員合わせて総勢50名の参加となりました。基地隊員の案内で2班に分かれて最初は基地内にある展示施設で自衛隊の活動をVTR映像で紹介されました。

基地内には、「航空支援集団司令部」、「航空開発実験集団司令部」、「航空保安管制群本部」と基地業務を担当している「航空気象群」等7つの部隊がありました。見学の最初は航空作戦に欠かせない気象予報を主任務とする「航空気象群」において専門の予報官の解説で重要な気象予報の現状の説明を受けました。その後基地内に展示してあるかつて活躍し、すでに用途廃止となっている「F-1支援



戦闘機」と「F-104J要撃戦闘機」を間近に見物して、当該戦闘機をバックに参加者全員の集合写真を撮りました。

午前中の見学を終わって基地内の隊員食堂で全員が隊員と同じメニューの昼食を頂きました。この日は冷やし中華で2000カロリもある隊員向けの体力を保つ栄養価の高い献立でした。

基地内売店に於いて自衛隊グッズをお土産に買って、質疑応答の席を最後に現地解散となりました。今回は50名の募集に2日間で満員となり、女性会員が15名の参加もあり興味深い会員の多さに驚きです。

生涯現役！輝くシルバーさん⑬

パソコン事業職群リーダー 萬代慶昭さん

今年の定時総会で会員表彰(120月以上就業)された萬代慶昭さんからお話をうかがいました。

北海道の倶知安(くつちゃん)の農家(米作)に生まれ、小中学校は農作業を手伝っていたそうです。

冬は雪が多かったので近くの山でよくスキーを楽しんだそうです。今でも年に数回、シルバークンとスキーを楽しんでいるとのこと。

就職で東府中に入った独身寮に入ったのが、府中市とのつながりの始まりです。

設計の思い出は、当時、3次元物体をリアルタイムに表示するのは数千万円するワークステーションで行うのが主流でしたが、半導体部門の友人から、これをパソコン上で実現(表示)したいと頼まれ、この設計を趣味で請け負い夏休み・休日を利用して設計しました。

設計を終えた後、これが半導体部門でLSI(高密度集積回路)化され国内外の学会で発表したところ、この技術がソニーの人の目にとまり、プレイステーションに

採用され大ヒットしたことです。

この回路は趣味で設計していたので、特許を申請してなかったことを大ヒットした後に悔やまれたそうです。特許を申請していたら別な人生を歩まれていたのかもしれない。

シルバー人材センターへは、多方面な経歴を持った方々との交流を考え、60歳の8月ころ入会し、すぐにパソコン事業職群に入り、以後パソコン職群一筋にやってきました。

現在はハードの回路設計もソフトで設計するので、企業の技術者にこの設計手法を教えながら、このソフト技法を学習センターの小学生にプログラミング講座としても教えています。

シルバーに入ってよかったと思う点は、自分が知らないことが入ってきて勉強になることです。

